



「理解済み」という誤解

時折、親御さまから「ウチの子は、もう既に現在の学習内容は把握済みの様子ですので、次の学習に移って下さい」等のご要望をいただくことがございます。そのようなご要望の内の少数は事実の様子です。しかし多くの場合は正しくはありません。何故、親御さまはこのような「勘違い」をなさってしまうのでしょうか？

これは、別に親御さまがお子様への過大評価を行ったからではないでしょう。では何故...？実は**お子様方は「学習内容を理解」していたのではなく、単に「暗記していた」もしくは「推測していた」に過ぎなかったのです！**実際に「理解している」訳ではなく、ただ流れをあやふやに覚えているに過ぎません。このことは決して、特にお子様にとってマイナスなことではありません。むしろネイティブのお子様もその様な段階を経ながら上達を得ています。ただ『**「暗記」していることと「理解」していることは別問題だ**』ということをご理解いただきたいのです。

例えば、"Sunday (日曜)"から "Saturday (土曜)" もしくは "January (1月)"から "December (12月)"を覚える為に、それに適した歌や早口言葉がございませぬ。勿論、当校では皆さんに効果的に単語を覚えていただくためにそれらを教材代わりに使用しています。そしてそれらは実に素晴らしい効果を発しています！しかしながら、「メロディーの流れ」で曜日などを暗記していることと、実際の理解が一致している訳ではありません。例えば、歌いながらであれば、" March (3月) "の後が "April (4月)"であることは言えるけれども、改めて "What month is coming after March? (3月の後は何月？)" と尋ねられれば、答えられないことが多くあります。これは1~10での数字に関しても多く見られる現象です。

綴りの場合、"app" とスペルの並び迄を目にした途端、多くのお子様をそれを "apple (りんご)" と読むはずだと思込んでいます。それは単に "apple"の綴りの並びやフォニックスを「何となく」覚えているからです。しかしながら、それが "apple"ではなく、"appear (姿を現す)" という単語だった場合はどうでしょう？ そもそもの綴りに関する知識やフォニックスの学習が曖昧だった場合、この"appear"を"apple"と勘違いしてしまうお子様は多くいらっしゃいます。

私たちは、勿論、これらを「理解」にまで発展させるよう指導しております。でもだからこそ、親御さまには**お子様の「暗記」を「理解済み」のものと同早合点しないでいただきたい**と思っています。

第二言語の学習は、子どもにとっても大人にとっても大変な時間と努力が必要なものです。単に流れを暗記したに過ぎないのを「理解済み」と思い込んでしまい、詰めを甘くしてしまえばそのツケは後々に反映してしまいます。

私たちはお子様の「**確実な上達**」を目指しております。そのためには、学習の正しい評価が必要となります。

Atsuko Saffell



Cafe information!

カフェのお知らせ

1. ガスパッチョスープ (限定商品)

お待たせしました！夏に最適なスープガスパッチョが5月24日からメニューに再登場します。トマトソース系のあっさりした風味。ピネガーが入っているので疲れた時にも最適です。是非、お試しください！

2. ベーグルピザ (限定商品)

昨年も大好評だったベーグルピザが帰ってきました！新鮮なモッツアレラチーズとオリジナルのドライトマトソースが絶妙！Enjoy it!

Only English Campaign!

オンリーイングリッシュ キャンペーン



お待たせしました！大人気企画、**オンリーイングリッシュキャンペーンを6月1日(金)から6月28日(木)の期間で開催します。**文房具類他、新たなグッズも追加され、皆さんの励みとなること間違いなしです！英語だけでたくさん話して、素敵な賞品をゲットしましょう！

お友達と話すときも英語で頑張ってくださいね。

もし日本語が必要なときは まず、"May I speak Japanese?"と言ってからにしましょう！